

さねとう あきら先生 追悼特集号

追悼特集号の発行にあたって

狭山市文化団体連合会 会長 横山美衣

去る3月7日、日本の児童文学の巨匠 さねとう あきら先生が旅立たれました。

児童文学界でも偉大な作家を失ったわけですが、私ども狭山市文化団体連合会にとっては、優れた指導者を失いました。これまで、第一回・第十回という、節目の狭山市民芸術祭企画公演に於いて、先生に脚本・演出・指導に至るまで面倒を見て頂き、先生のお力のお蔭で、芸術性の高い公演を発信する事が出来ていたのです。

また先生は、狭山市にご恩返しをすると仰って、数々の狭山に関係のある民話・歌を創られ、これからも、池原昭治先生とのタッグで、「狭山妖怪百選」をお書きになる予定だった事を思うと、狭山市も大きな宝を失いました。

今回、さねとう先生にご縁のあった文団連関係者から、溢れる思いをお寄せ頂き、追悼特集号を発行する事にしました。

先生をご存じの方はもちろん、ご存じの無い方々も、児童文学作家・創作民話作家さねとう あきら先生を知って頂き、誤魔化しの無い、優れた作品に触れて頂きたい。そして子ども達に語り継いで頂ければと思います。

なお、下記のように、文団連有志が発起人となって「偲ぶ会」を計画しています。先生にゆかりの有るプロの語り手に、先生の作品を語って頂き、また先生の作詞なされた歌を、皆さんと歌って、先生への追悼の気持ちを表します。

多くの方々にお集まり頂ければと存じます。

— さねとう あきら先生を偲ぶ会 —

期 日：7月16日(土) 13:00受付開始 13:30開会 15:00閉会予定

会 場：狭山市民会館 リハーサル室

参加費：2,000円(経費実費の他は先生のご霊前に供えさせていただきます)

内 容：追悼の言葉、さねとう作品の朗読、さねとう作詞曲の合唱

お問合せ：090-2206-3597(横山)

さねとう あきら先生に感謝

顧問 小高誠太郎

本会が発足して間もない平成13年(2001年)2月に第1回市民芸術祭が開催され、ページェント劇「狭山いまむかし」が上演されました。同時に劇のテーマ「道・土・炎」で展示も。この脚本・演出をお引き受けいただいたのが、さねとう あきら先生です。

何もわからない時期に、先生の信念をお持ちになったご指導で素晴らしい成果を挙げる事ができました。ありがとうございました。そして、平成22年(2010年)の第10回市民芸術祭で、再び さねとう先生の脚本・演出による「さやま民話風土記」の登場となりました。今、郷土愛を深め『狭山の民話』を語り継いでいくことが先生への恩返しになると思います。